

Labo News

新春を迎えて



愛知県知事 大村 秀章

らぼ ニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
住 所 名古屋市中村区名駅5-16-17
花車ビル南館 〒450-0002
電 話 052-581-1013
F A X 052-586-5680
ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
普通口座731-677
発行人 松本 祐之
編集人 山田 真

No.382 目次

- ◆年頭挨拶 大村秀章…………… (1)
- ◆年頭挨拶 加藤昌弘…………… (2)
- ◆年頭挨拶 松本祐之…………… (2)
- ◆スキルアップ研修会に参加して…………… (3)
- ◆管理運営研修会に参加して…………… (3)
- ◆愛臨技精度管理「結果検討会」に参加して… (4)
- ◆第3回スギ薬局
健康・キレイ応援フェスタに参加して… (4)
- ◆平成25年度尾張北地区研修会に参加して… (5)
- ◆平成25年度全国検査と健康展に参加して… (5)
- ◆世界エイズパレードに参加して…………… (6)
- ◆知多地区研修会…………… (7)
- ◆尾張南地区研修会…………… (7)
- ◆講演会・研究会…………… (7)
- ◆第12回西三河がんフォーラム…………… (9)
- ◆平成25年度
愛知県臨床検査精度管理調査報告会および
特別講演会のお知らせ…………… (10)

あけましておめでとうございます。

昨年は、円高是正、デフレ脱却に向けた政策が進められる中、愛知が我が国の産業経済を牽引していくとの決意のもと、産業競争力の強化に全力で取り組んでまいりました。

今年は、こうした取組を一層発展させ、愛知の活力と豊かさを更に高めていくとともに、リニア中央新幹線の開業等を視野に入れた地域づくりを進めてまいります。

このため、企業立地や研究開発に対する支援、航空宇宙を始めとする次世代産業の育成・振興、規制改革の実現、モノづくり人材・グローバル人材の育成などに全力で取り組むほか、利便性の高い交通体系の形成や農業の高付加価値化、観光魅力のPR強化、女性の活躍推進、子育て支援、福祉・医療の充実、交通安全、地震防災対策、スポーツ・文化面等の魅力向上などに力を注いでまいります。

また、秋の「ESDに関するユネスコ世界会議」「技能五輪全国大会・全国アビリンピック」を成功に導き、愛知の魅力を全国・世界に発信してまいります。

これらの取組を通じて、「日本一元気な愛知」と豊かさを実感できる県民生活の実現を目指してまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成26年元旦

新年を迎えて



愛知県健康福祉部
健康担当局長
加藤 昌弘

あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

本県の健康福祉行政の推進につきましては、日ごろから格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、我が国の平均寿命は、公衆衛生の向上や医療技術の進歩に支えられて大きく延伸しており、県民の皆様が健康で長生きをしたいと願う気持ちはますます強くなっています。

貴会は、臨床検査に携わる県内唯一の技術者集団として、知識及び技術の研さんや衛生思想の啓発を通じて県民の健康の保持及び増進に貢献してこられました。

近年、信頼性の高い科学的指標に基づく良質な医療の提供をすることが強く求められており、疾病の診断・治療を適切に実施していくためには、正確かつ迅速な臨床検査結果の提供が不可欠であり、その重要性は益々高くなっています。

臨床検査の専門家である皆様方におかれましては、今後とも知識・技術の研さんに努められ、正確かつ迅速な検査結果を提供して頂くとともに、県民の健康の保持及び増進により一層御尽力いただきますようお願い申し上げます。

本県といたしましても、安全で快適に暮らせる社会の実現に向けて、全力で取り組んでまいりたいと考えておりますので、これまで以上に健康福祉行政への御支援をお願い申し上げますとともに、皆様の御健康と貴会の一層の御発展を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成26年 元旦

平成26年が明けて



公益社団法人
愛知県臨床検査技師会
会長 松本 祐之

あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、気持ちも新たに輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、会員の皆様のご支援、ご協力と愛知県健康福祉部の手厚いご指導のお陰で、4月1日より会の名称も変更し、新たに「公益社団法人愛知県臨床検査技師会」として移行することができました。改めて御礼申し上げます。

さて、現在の医療社会では、医療の質の向上が叫ばれており、医師・看護師不足も相俟って、われわれ医療関連職種は一丸となり、チーム医療を推進して行かなければなりません。日臨技では「チーム医

療推進検討委員会」の答申をもとに、「検査説明・相談のできる技師育成」を目標に、3年計画で会員の約1割の5400名の技師育成を行っていく予定であります。また、標準化事業として進められてきた精度保証施設認証制度をさらに推進し、平成26年度までに認証施設1000施設を目標に活動を行ってきております。

当会においても日臨技との連携を図り、これまでのチーム医療の推進を継続するとともに、「検査説明・相談のできる技師育成」事業の推進と、これまでの愛知県下の臨床検査精度向上を支援してきた証として、日臨技精度保証施設認証制度における認証施設の拡大に努力したいと思っております。また、今後の医療を担う臨床検査技師の育成が重要な課題であり、そのためには学術活動の更なる活性化が「カギ」となるように思います。

会員の皆様には、これまで同様に当会の更なる発展のため、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、平成26年が会員の皆様にとって良き年でありますように心からお祈り申し上げます。

平成26年 元旦

スキルアップ研修会に参加して

安城更生病院 臨床検査技術科 杉浦 康行

今年のスキルアップ研修会は「脳」をテーマにした内容で、ベテランから若手まで多くの方が参加しました。脳の組織学から始まり、大学の講義室での研修会ということもあり学生時代に戻った気分が新鮮でした。日頃の検査では微生物の分野から脳に関わってきたため、細菌性髄膜炎における髄液はよく扱っていましたが、組織学を理解できていなかったため血液中から髄液へ細菌が侵入する経路や、一般検査での髄液細胞数、髄液糖がどのような結果になるのかを改めて理解することができました。

特別講演では、増加し続ける認知症に臨床検査技師が専門的知識を持って参加する検査や、精神科医療における検査の役割について詳しく説明していただき、一見検査との関わりが少ない分野に思いましたが、検査をすることで鑑別できる疾患があり、その上で正確な治療を進めることが可能となるということでした。専門性を持った検査技師が臨床に関わるという新しい取り組みは大変参考になりました。

今回の研修会に参加し、脳の基礎的知識の向上と各分野の検査における脳への関わり方について広く知識を得ることができました。今後の検査に役立てたいと思います。



セミナー風景



特別講演 浦上克哉 先生

管理運営研修会に参加して

公立陶生病院 瀧本 淳

11月9日『職場のメンタルヘルスと管理職の心構え』をテーマとした講演会があり、現実どの施設でも起こりうることで、日々の業務の中で忘れがちな現状を再度考え直すいい機会だと思い参加しました。

内容としては、「メンタルヘルスの重要性」「最新メンタルヘルス事情」「メンタルケアにおける管理職の役割」「今注目されているパワハラについて」などを細かく説明していただきました。講演の内容の中で注目した点は、～管理職こそセルフケア～と題してストレスに強い体を作るにはやはり睡眠・バランスのとれた食事・適度な運動など基本的な健康生活をおくる事が重要であると言われました。基本中の基本なのですが、忙しい現実の中にとそれすら出来てない事に気づかされました。

そしてもう一つ、パワハラについての現状を裁判事例を用いて解説されました。また、パワハラと言葉では理解しているつもりでしたが、どの程度認識しているかをチェックシートで確認しましたが、自分が思っている以上に解っていない事に気づかされました。今回の講演会で得た内容を自分の立場を踏まえて職場で生かしていきたいと思います。



お知らせ

生涯教育点数が関係する行事に参加される方は、必ず会員証をお持ち下さい。

会員証をお忘れになった方は、自己申請して頂くことになります。

申請用紙は愛臨技HPの各種手続きにあります。

愛臨技精度管理「結果検討会」に参加して

公立陶生病院 鈴木 秀幸

平成25年11月7日(木) 18時30分よりウインクあいちで開催された精度管理結果検討会に参加させていただきました。初めて参加させて頂く検討会でした。今回の精度管理の結果を受けての参加で、どんなお叱りを受けるのかと不安と反省の念を持っての参加でした。しかし、いざ会場に入るとまだ開始前にも関わらず熱心に意見交換をしている姿が各テーブルで見られ、参加者の前向きな姿勢に曇っていた気持ちもすっかり吹き飛びました。会場では部門毎のテーブルに分かれて行われた検討会でした。班員の先生方が施設ごとに資料を用意して下さい、今回の評価のポイントや出題の意図について丁

寧に説明して頂きました。また今回の精度管理の問題点や日常業務の疑問点について他施設の先生方と交流が出来たことが私にとって大変良い経験となりました。

今回の経験を日常業務に活かしていきたいと思えます。



第3回スギ薬局 健康・キレイ応援フェスタに参加して

西尾市民病院 中村 広基

11月16、17日にスギ薬局 健康・キレイ応援フェスタが開催されました。愛臨技は愛知県細胞検査士会と合同で「がん細胞を見てみよう」という企画で参加しました。ブースに立ち寄って頂いた方に、乳癌と子宮頸部癌のスライドガラスを、顕微鏡で見てください、検診がいかに重要かをお話しするという内容です。テーマが「がん」ですが、年配の方だけでなく、20代や30代の方の関心の高さも感じ、非常に盛況でした。

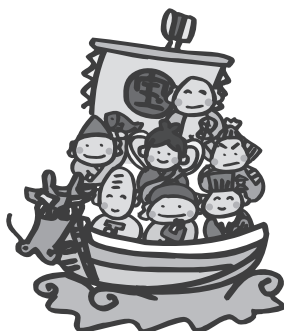
患者サービスの一環として、細胞検査士の資格を有する臨床検査技師が、患者に細胞診検査の結果について説明を行う施設もありますが、ほとんどの方は、そのような経験はないと思います。私も、通常業務ではこのような機会はありません。一般の方に

説明することの大変さ、言葉の選び方など、逆に学べるのが沢山ありました。次の機会には、皆さまもぜひご参加ください。勉強になりますよ。



平成25年12月10日現在 正会員数 2,802名

※求人情報、理事会・常務理事会議事録はホームページを御覧いただくか、事務所へお問合せください。



平成25年度尾張北地区研修会に参加して 小牧市民病院 臨床検査科 大野 則仁

昨年11月29日(金)に尾張北地区研修会が開催されました。

本年度より当会は、公益社団法人格を取得したことにより、県民の健康増進について広く普及啓発を行っていく上で、今後この研修会についても一般の方々をも対象に開催していく所存です。

今年度のテーマは子宮頸がん。子宮頸がんは検診で予防できることを知っていただき、ひとりでも多くの方々に受診してもらうために、まずどんな病気かを知ろうということで開催された研修会でした。

参加者46名中、会員29名、非会員17名の参加を得ました。非会員のみなさんはメーカーの方が多く、今一步、一般の方へのアピール不足を痛感しました。

子宮頸がんはHPV(ヒト・パピローマ・ウイルス)感染に起因すること…。HPV感染(一過性の感染)

がそのまま子宮頸がん発症となるわけではなく、持続による感染がハイリスクなこと…。またそのHPVもさらに超ハイリスクな遺伝子型が存在すること…。等盛りだくさんな内容でした。

現在は細胞診のみでの検診が多いようですが、HPV検査を組み合わせた併用検診も増えているようなので今後の動向が期待されます。

早期発見!そのための検診受診!その必要性と有用性について深く学習した研修会でした。



平成25年度全国検査と健康展に参加して



名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 臨床検査部門 服部 光

11月11日は臨床検査の日であり、11月は「全国検査と健康展開催月刊」です。平成25年度の全国検査と健康展

活動の一環として、県民のみなさんに対して臨床検査および血糖検査が糖尿病並びに糖尿病合併症の早期発見や早期治療につながる有用な検査であることを広く知っていただくことを目的として、11月14日に日臨技発行の「検査のはなし」等のパンフレット(全国検査と健康展のシールを貼ったもの)を配布しました。

毎年11月14日世界糖尿病Dayであるということで(恥ずかしながら、私は初めて知りました…)世界中で様々啓発活動やブルーライトアップが行われ、愛知県では名古屋城などがブルーライトアップされておりました。前日の夜は非常に寒く、当日もどれだけ寒いのだろうかかと覚悟していましたが、思ったほどではなく、皆で愛知県臨床検査技師会のお揃い

の黄色いジャンパーを着こみ、中区の栄広場を中心に皆で手分けしてパンフレットを配布しました。

私は、なかなか声をかけてもパンフレットを受け取ってもらえず心が折れかけていましたが、中にはお一人で何部も何部も配っていらっしゃる方もいらっしゃって、1時間ほどではありましたがたくさんの方に啓発する事ができたと思います。

まだまだ、ピンクリボン運動等に比べると知名度の低い世界糖尿病Dayではありますが、糖尿病は今や世界の成人人口のおよそ5~6%となる、2億4600万人が抱える病気であり、日本でもまた40歳以上の3人に1人が糖尿病または糖尿病予備軍で、糖尿病が原因の死者も年間約1万人以上になる中、糖尿病には痛みなどの自覚症状が少ないことから疑いがありながら検査を行っていない方もみられます。

今回のパンフレット配布活動を通して、改めて検診による糖尿病の早期発見・早期治療の大切さを痛感し、また臨床検査技師という職業の存在や、糖尿病検査の一分野である血糖やHbA1c検査を臨床検査技師が行っているということを少しでもPRできたかと思えます。

STOP! AIDS

世界エイズパレードに参加して

医療法人オリエンタルクリニック

武田 理恵 村瀬 育子

12月1日(日)に栄で「世界エイズデーイベント」が開催され、ボランティアとして参加させていただきました。ボランティアに参加するのは初めてで不安でしたが、スタッフの先輩方に教えていただき800個の避妊具やパレードで市民の方に感染予防の啓発を行うことが出来ました。

配布の際に、「今日は世界エイズデーです」と言い配りましたが、AIDSという言葉にいやな顔をする人もいて、自分とは関係のないように感じている人が多いと感じました。

イベントでは音楽集会も行われ、地元アイドルユニットのライブも行われました。初めて生でアイドルのライブやファンの応援を見ました。最初はファ

ンの熱気に引いていたのですが、一緒にライブを見ているうちに楽しんでいる自分がありました。そこで気づかされたのは、以前からアイドルを応援するファンの方に対してあった偏見も、AIDS患者への偏見も同じであること。私たちは知識がないと物事を個々のフィルターを通して捉えてしまうことがあります。そのような偏見をAIDS患者に対してなくなるよう、臨床検査技師として正しい知識を伝えていきたいと感じました。そして、検査を受ける方が増え感染拡大の防止に繋がってほしいです。

最後に、HIV抗体検査は無料、即日結果で検査できます。自分自身や愛する人を守るために、出来ることをしていきましょう。



知多地区研修会

専門教科：20点

日時：平成26年2月27日(木) 19:00～20:00

場所：半田市医師会健康管理センター

テーマ：一般検査に長年従事して、伝えたい事・想う事

講師：厚生連知多厚生病院 鈴木 和人
司会：知多市民病院 新美 宗彦
内容：当直検査(尿及び髄液検査)として重要な事、一般検査を担当しているスペシャリストとして求められることを皆様と考えてみたいと思います。尿検査・尿沈渣検査で臨的に何が必要なのか、寄生虫検査は経験に基づいて、髄液検査では細胞鑑別を中心に、業務にどのように反映出来るのかを提案出来ればと考えています。『じえじえじえ』と思っても『あまちゃん』とよばれない技師を目指して。

尾張南地区研修会

基礎教科：20点

日時：平成26年3月1日(土) 15:00～17:00

場所：中部労災病院講堂(2階)

テーマ：採血について

発表：名古屋記念病院、大同病院、名古屋市立大学病院の中央検査部
「当院における採血業務」

講演：日本ベクトン「採血方法の標準化」
積水メディカル「凝固剤の検査データへの影響」
モレーンコーポレーション「患者さんから観た病院の感染対策」

司会：中部労災病院 中央検査部 福田 隆広
内容：近年、臨床検査技師が採血業務を実施する施設が増加している。医療事故の増加やリスク対応が求められている。今回、尾張南地区3施設の採血手順や自施設での工夫などを発表します。講演として3社より採血に関する内

容を話していただきます。日頃、採血に関して疑問に思っている事など質問して下さい。尾張南地区のみならず多数の参加をお待ちしています。

講演会

生物化学分析検査研究班

専門教科：20点

日時：平成26年2月1日(土) 15:00～17:00

場所：名古屋第一赤十字病院東棟2階会議室1.2
名古屋市中村区道下町3丁目35番地

テーマ：「呼吸器感染症について
& H25年度愛臨技精度管理報告」

講師：1. 臨床化学部門 精度管理報告
刈谷豊田総合病院 伊藤 英史
2. 免疫血清部門 精度管理報告
厚生連安城更生病院 鈴木 美穂
3. 特別講演「呼吸器感染症について」
名古屋第一赤十字病院
第一呼吸器内科 野村 史郎

司会：トヨタ記念病院 和出 弘章
藤田保健衛生大学病院 齋藤 翠

内容：H25年度愛知県精度管理調査の解析結果について詳細報告します。特別講演では、市中肺炎を中心に解りやすくご講演して頂きます。多くの方の参加をお待ちしております。

講演会

生殖医学検査研究班

専門教科：20点

日時：平成26年2月1日(土) 15:30～17:00

場所：藤田保健衛生大学 坂文種報徳會病院
2階 第3会議室
(JR尾頭橋駅下車 徒歩5分)

テーマ：最近の不妊症治療と将来の展望
- 腹腔鏡手術から体外受精まで -

講師：藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院
産婦人科 講師 塚田 和彦

司会：藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院
伊藤 裕安

講演会

遺伝子染色体検査研究班

基礎教科：20点

日時：平成26年2月8日(土) 15:00～17:00

場所：スズケン名古屋支店 2階 会議室

テーマ：出生前遺伝学的検査の最前線

講師：1. 「染色体検査と分子遺伝学的な解析を併用した出生前検査」

リッツメディカル株式会社・クリニカルラボラトリー 大橋 浩泰

2. 「新型出生前診断について考える～概要と導入後の臨床経験～」

藤田保健衛生大学・産婦人科・准教授

西澤 春紀

司会：藤田保健衛生大学 大江 瑞恵

内容：胎児の遺伝学的な変化を調べる出生前検査の方法は大きく進化中です。昨年、よく報道されたお母さんの血液で検査する「新型出生前検査」もその一つです。出生前検査を理解し、倫理的背景も含めたその検査の意義を考えるために講演会を企画しました。部署を問わず、多くの方のご参加をお待ちしております。

研究会

輸血検査研究班

「愛臨技精度管理事業報告会」

専門教科：20点

日時：平成26年2月8日(土) 15:00～17:00

場所：名古屋市立大学

医学研究科・医学部研究棟11階講義室A

テーマ：より安全な輸血医療に向けて

講師：1) 平成25年度精度管理調査報告
豊田厚生病院 原田 康夫

2) 日本血液製剤機構とその取り扱う分画製剤の安全対策(電子タグ)について

日本血液製剤機構 事業本部 学術推進課

東海エリアプロダクトマネージャー

吉成 昌樹

日本血液製剤機構 事業本部

流通推進部 川添 一三

司会：名古屋市立大学病院 越知 則子

内容：平成25年度精度管理調査結果をもとに、各施設における輸血検査の現状や検査上注意を要するポイント等を報告します。また、日本血液製剤機構の業務および血漿分画製剤を中心に製剤と安全対策について講演いただきます。

*研究会後、精度管理に関する相談会を開催します。相談のある方は、受付時にお申し出ください。なお、施設別報告書、抗原表などの資料を持参してください。

研究会

一般検査研究班

「愛知県精度管理事業報告会」

基礎教科：20点

日時：平成26年2月8日(土) 15:30～18:00

場所：医療法人宏潤会 だいでうクリニック

5階 講堂

(名鉄常滑(河和)線柴田駅南口下車徒歩3分)

テーマ：I. 愛臨技精度管理調査報告

II. 検体から見える事、感じる事

講師：I. ①JA愛知厚生連江南厚生病院

伊藤 康生

②豊川市民病院 永井 君子

③名古屋大学医学部附属病院

岩崎 卓識

④社会医療法人宏潤会 大同病院

浅井 千春

II. JA愛知厚生連知多厚生病院

鈴木 和人

司会：I. 医療法人衆済会増子記念病院

平田 弘美

II. 医療法人青山病院

平田 基裕

内容：①平成25年度の愛臨技精度管理調査の報告を行います。尿定性、便潜血、フォトサーベイについて詳細に解説をしていただきます。②検体(検査値)から数多くの患者像が見え隠れします。意外な項目から情報が得られる事もあります。検査技師は検査から患者さんの病態を読むスペシャリストでありその情報を臨床に伝

える事が出来なければ存在価値はありません。鈴木先生には豊富な経験に基づいてお話しして頂きます。

愛知県臨床検査技師会
生涯教育認定登録団体研究会のご案内
第12回 西三河がんフォーラム

研 究 会

生理検査研究班

基礎教科：20点
日 時：平成26年2月15日(土) 15：00～17：00
場 所：名古屋市立大学
医学研究科・医学部研究棟11階講義室B
テ ー マ：平成25年度愛臨技サーベイ解説
講 師：1. 愛臨技精度管理調査報告
社会保険中京病院 加藤 鮎美
2. 心電図
半田医師会健康管理センター
相羽 佐紀
3. 脳・神経生理
西尾市民病院 鈴木 更織
4. 肺機能
東海記念病院 宮田 真希
5. 心・血管エコー
津島市民病院 山梶 恵美
6. 腹部・表在エコー
厚生連渥美病院 小笠原律子
司 会：厚生連豊田厚生病院 成瀬 文子

研 究 会

血液検査研究班

基礎教科：20点
日 時：平成26年2月15日(土) 15：00～17：00
場 所：株式会社ズケン名古屋支店2階会議室
テ ー マ：①愛臨技精度管理調査報告会
②日常の精度管理の注意点 血算・凝固編
講 師：JA愛知厚生連 江南厚生病院
川崎 達也
豊橋市民病院 近藤 由香
シスメックス株式会社 名古屋支店
プロダクト営業課 清水 信尚
司 会：愛知医科大学病院 今井 正人

基礎教科：20点

日 時：平成26年2月6日(木) 18：30～20：00

場 所：安城更生病院 2階 講堂

テ ー マ：「悪性リンパ腫治療の進歩」

「自家移植後に再発した悪性リンパ腫に
対しベンダムスチンを投与した5症例
の検討」

講 師：愛知県がんセンター中央病院

血液・細胞療法部 部長

木下 朝博 先生

安城更生病院 血液・腫瘍内科

今井 奏衣

司 会：安城更生病院 血液・腫瘍内科代表部長

澤 正史

参 加 費：無料

内 容：当院の血液内科は病院創生期より充実したスタッフを擁し現在多数の専門スタッフにより、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫等の造血器悪性疾患はじめ造血障害、各種貧血、凝固異常等の血液疾患全般にわたり、東海地区の中核施設の一つとして診療を行っています。

今回は、愛知県がんセンター中央病院血液・細胞療法部 部長の木下朝博先生に「悪性リンパ腫治療の進捗」と題し講演をいただき、西三河地区のがん診療に従事する医療者と共に最新の悪性リンパ腫における知識を学びたいと思います。

お詫びと訂正

らぼニュース12月号6ページ、西三河地区研修会のご案内で専門教科となっておりますが、正しくは基礎教科です。お詫びして訂正いたします。

基礎教科：20点

専門教科：20点

平成25年度 愛知県臨床検査精度管理調査報告会および特別講演会のお知らせ

日 時：平成26年3月8日(土) 14:00～17:40
会 場：名古屋第一赤十字病院 バースセンター4階
内 容：平成25年度 愛知県臨床検査精度管理調査報告会および講演会

1) 開会式 (14:00～14:15)

- (1) 愛臨技会長挨拶
- (2) 来賓挨拶

2) 各検査部門別報告 (14:15～15:45)

- | | |
|--------------|-------------|
| (1) 事務局総括 | (6) 生理検査部門 |
| (2) 臨床化学検査部門 | (7) 輸血検査部門 |
| (3) 免疫血清検査部門 | (8) 微生物検査部門 |
| (4) 血液検査部門 | (9) 細胞検査部門 |
| (5) 一般検査部門 | (10) 病理検査部門 |

要点を簡潔にまとめた形式で報告を行います。詳細な報告は各研究班研究会および総括集を参照してください。先着順となりますが、参加者には総括集を配布いたします。

3) 特別講演会1 (15:50～16:40)

テーマ「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成について」

講師：日臨技 チーム医療推進検討委員会 委員長

(前) 厚生労働省医政局指導課 医療関連サービス室長補佐 奥田 勲

日臨技では、「検査説明・相談ができる臨床検査技師」育成企画がたてられており、奥田技師にはこの事業方針についてお話していただきます。また愛臨技でも来年度から研修会を開催する予定です。

特別講演会2 (16:50～17:40)

テーマ「病理検査技師から見た東日本大震災」

－宮城県北部地震・岩手宮城内陸地震・東日本大震災の経験より－

講師：石巻赤十字病院 菅原 勲

東北の大震災から早くも3年がたとうとしています。菅原技師には、当時の災害の状況と検査室としての対策についてお話していただきます。

基礎教科：20点



主 催：愛知県臨床検査技師会
共 催：愛知県医師会・愛知県病院協会
愛知県臨床検査標準化協議会

名古屋第一赤十字病院 バースセンターへの行き方
地下鉄中村日赤駅2番出口から矢印のように進んで
1階の入り口から入ってください。